

2019年4月5日

各 位

デンカ株式会社

## 2019年度デンカ入社式 社長祝辞

2019年度新入社員の皆さん、入社おめでとうございます。平成が終わり、新たな元号の始まりに希望を込めるこの特別なときに、皆さんをデンカの新たなメンバーとして迎えることを大いに喜ばしく思います。

皆さんご承知のとおり、世界は今大きなスケールで激しく変動し続けています。米中貿易摩擦や Brexit に代表されるナショナリズムと保護主義の高まりが、中国や新興国の成長基盤を揺るがし経済と貿易の停滞を招いています。為替や金利、原料価格といったビジネスの根幹に影響を与える経済指標の先行きを見通すことは、ますます困難になっています。

その一方で、EV や自動運転に代表される自動車の急速な進歩や、IoT や AI、ビッグデータ、さらには 5G などサイバー空間の驚異的な膨張、遺伝子治療などに代表される医療革命などのメガトレンドが速度を増しており、市場における競争条件そのものを破壊的に変化させています。

昨日の常識が、今日の非常識となる世界に、我々は足を踏み入れているのです。

“サピエンス全史”というベストセラーを読んだ方はいますか？読まれていない方がいればお勧めしますが、同じ著者の“ホモ・デウス”ともども、示唆に富んだ興味深い本です。

この書物の後半で、著者はこのように語っています。

“今や社会秩序は、絶えず流動的な状態で存在する。確信を持って語れる近代社会の特徴は、その絶え間ない変化だ。”と。

インターネットは 1990 年代初めに本格化しました。皆さんにとっては生まれた時から当たり前の仕組みだと思いますが、その誕生により社会の有り様はそれ以前とは全く異なったものになったのです。iPhone の登場は 2007 年、ほんの 10 年ちょっと前ですが、人々の行動パターンはスマホやタブレット無しには語れなくなりました。余談ですが、先日、さるデパートのエレベーターで、乳母車に乗った言葉もしゃべれない赤ちゃんが iPad を操っている姿にびっくりしていたら、母親ににらみつけられるという怖い経験をしました。

恐らく、その母親には、うろたえる私の姿は、頑迷な旧人類のように見えていたのではないのでしょうか。その良し悪しは別として、まさに、現代は変化が絶え間なく加速化している時代だということです。変化に素早く適応し、むしろ変化の主体となれない存在は退場せざるを得ない。現代の企業と、企業で働く者が本質的に求められているのも、まさに変化の追求です。変化に立ち向かい、さらには自ら率先して変化を求め、新たな創造をし続けることが生存条件となる時代に我々は生きています。

デンカは、2018 年度から新たな経営計画である Denka Value-Up をスタートさせました。この計画には、過去の固定観念にとらわれずに、時代の要請を先取りして、率先して変化し続け、創造し続ける企業体質に生まれ変わる、それによって社会の発展に貢献する企業となるという並々ならぬ覚悟が込められています。皆さんは、この Denka Value-Up が速度を増しつつ進行しているその渦中に、デンカの社員としてデビューを果たすわけです。

すでにビデオで Denka Value-Up の概要はごらんになったと思いますが、冒頭で挙げたメガトレンドをビジネスチャンスとすべく、事業構造、技術開発、人財プールまであらゆる面でのスベ

シャリティ化を推進します。それとともに、製造、研究、業務にわたる全プロセスの革新により生産性を劇的に高め、不確実性を強めるグローバルな市場において、環境の変動に打ち勝ち、持続的な成長を可能とする強力な体質に転換していく。その一方で、生産性の革新をワークライフバランスの向上にもつなげ、デンカで働くことを世界中の人々から高く評価されるような会社になることを目指します。

本日、デンカの新たな一員となった新入社員の皆さん、デンカと皆さんの未来に向けて、皆さんが活躍すべきことは沢山あります。デンカの枠を超えて、グローバルな基準でも、スペシャルな存在となるべく各々精進を続けねばなりません。そして、全社に変化を促すクリエイティブな役割をそれぞれのポジションでしっかり果たすとともに、相互の連携を強めてお互いを高めあっていく。そのことが、デンカという会社が変化の主体となり、皆さんとともに大きな変革をやりとげ、社会発展に貢献していくための不可欠な条件となります。

最後に、歓迎の言葉に替えて、中国の古典からひとつ、皆さんの今後へのヒントとなる四字熟語をご紹介します。ご存知の方もいらっしゃるでしょう。胆大心小という言葉です。胆（きも）は大きく、心は小さくと書きます。度胸と細心の注意で事に当たれば、大抵の難局は乗り越えられるという意味です。臆さず、且つ注意深く、ことにあたり、成功体験や、あるいは価値ある失敗の積み重ねで自分を磨いていってください。デンカの先輩たちは、皆さんの成長への挑戦をしっかり支えてくれるはずです。

以上、新入社員各位のご健闘を期待して、私から皆様への祝辞とさせていただきます。

2019年4月1日

デンカ株式会社  
代表取締役社長 山本 学